

公用車へのEV車、PHEV車導入による ゼロカーボンに向けたCo2排出削減

北海道ニセコ町

2024年2月1日

事業の背景、目的

- ニセコ町は2015年の温室効果ガス排出量から**2030年までに44%、2050年までに86%削減**（R6年2月現在）という目標に挑戦している
- 町内の主なCo2排出の内訳として、7割が建物（商業5割、家庭2割）、2割が自動車、1割が事業活動等に由来
→ゼロカーボンに向けたそれぞれのエネルギー消費効率の考え方を「ニセコ町環境モデル都市第2次アクションプラン」において定めております。
- 特に移動・輸送に関して、**①移動距離の短い街区の形成、②移動・輸送の共同化、③移動・輸送手段の低炭素化**を行う方針を定めており、①は生活モデル地区事業、②はカーシェアサービス実証実験（町民や行政利用）等に代表される取り組みを既に進めている。

今回③に関し、公用車、特に普通車（ガソリン車）を走行距離に応じ台数の最適化を図るとともに、EV車、PHEV車の導入を通じてCo2排出量の削減を目指す



事業内容、期待できる成果

- ニセコ町におけるCo2排出量削減取組みのうち、特に「移動・輸送」に関しては**移動距離の短い街区形成、移動・輸送の共同化、移動・輸送手段の低炭素化**の3つに注力を行う方針を立てている

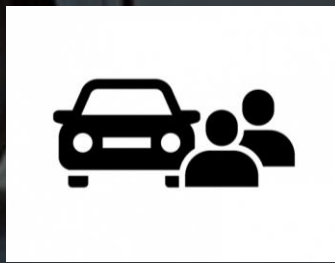
ニセコミライ 新街区形成

厳しい冬の寒さを伴うニセコでも、最小限の光熱費で快適な住環境、除雪負担を軽減する高品質な集合住宅。街区には広大な共有スペースを設計するなど、暮らしにゆとりを育む街区設計



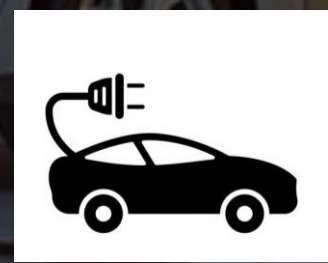
タイムズカーシェア 実証実験

車も個人の「所有」から共同での「共有」へのシフトすることで環境負荷軽減に加え、限られた資源を有効に活用する



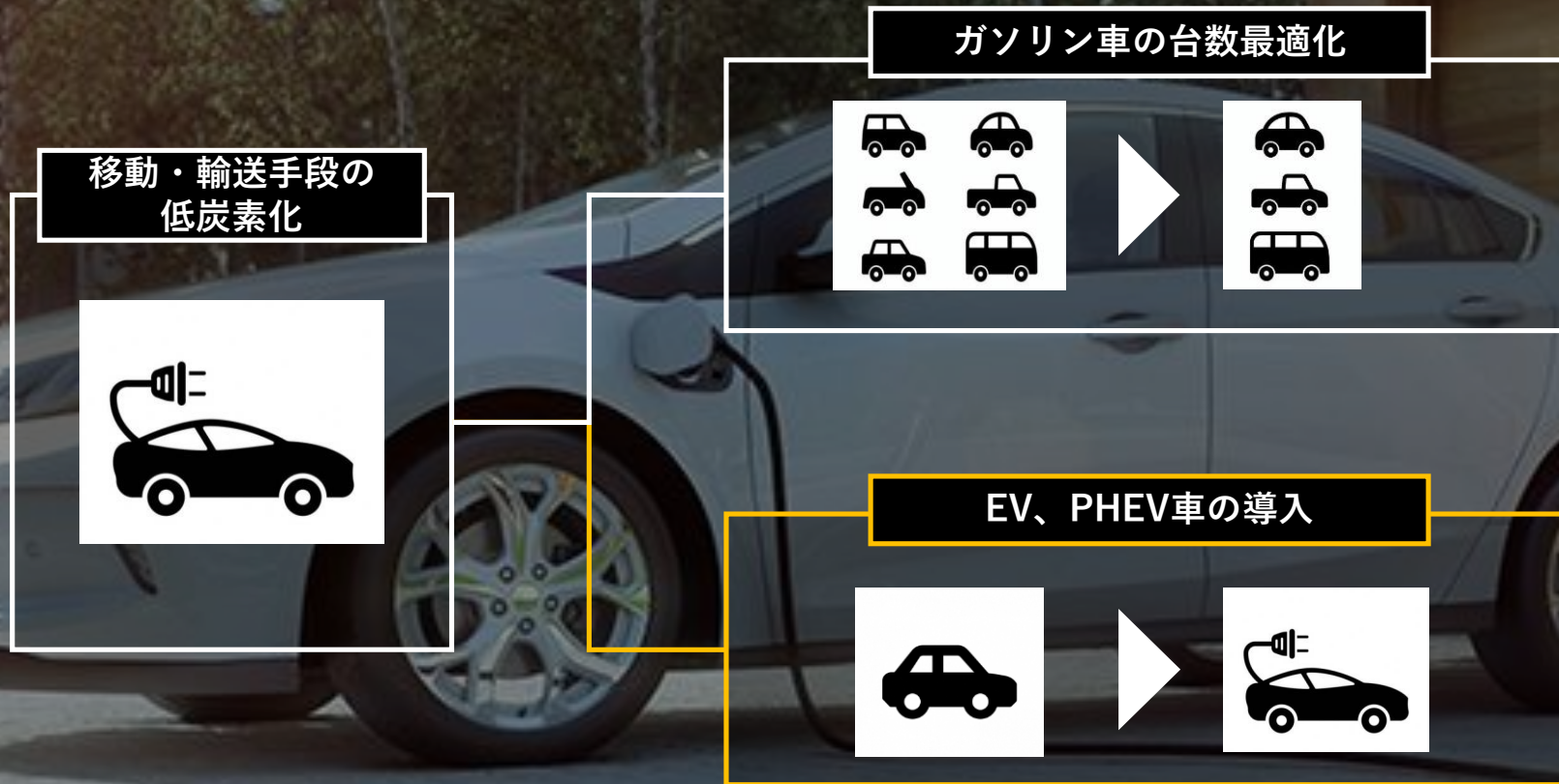
移動・輸送手段の 低炭素化

公用車、特に普通車（ガソリン車）を走行距離に応じ台数の最適化を図るとともに、EV車、PHEV車の導入を通じてCo2排出量の削減を目指す



事業内容、期待できる成果

- 本事業では公用車、特に普通車（ガソリン車）を走行距離に応じ台数の最適化を図るとともに、EV車、PHEV車の導入を行い、**町内事業者や町民の利用を促す**とともに、**移動・輸送における中長期的なCo2削減**に寄与することを目指す



企業側のメリット

- 「ブランド又は企業イメージ向上」「町との取組み拡張による事業とのシナジー創出可能性」において企業メリットを想定

ブランド/企業イメージへの寄与

- 「質（意味）」：環境モデル都市（H25）、SDGs未来都市（H30）に指定
- 「量」：広報紙への掲載・企業連携の枠組み「ニセコハートラボ」サイトへの掲載&WEB記事配信（予定）、SNS、noteでの拡散など町内外のポジティブな宣伝促進＋ニセコ町の知名度→認知（拡散時のレバレッジ）

町との取組み拡張可能性

- 「企業版ふるさと納税」＝企業連携の枠組み「ニセコハートラボ」における1つの取組みの位置づけ
- ニセコハートラボ内の他取組みへの拡張を通じ、企業様の既存事業とのシナジー創出の可能性あり

お問い合わせ先：ニセコ町企画環境課自治創生係
電話番号：0136-44-2121
FAX番号：0136-44-3500
Mail：jichi@town.niseko.lg.jp